

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会（公民的分野）
----	-----------

発行者 略 称	教科書名	選定委員会から付された意見
東 書	新編 新しい社会 公民	・経済の動きの流れがわかりやすくなるよう、紙面構成が工夫されている。 ・デジタルコンテンツが豊富で、様々なツールがあるのが良い。特に、活動ツールやワードチェックが生徒の興味をひくものとなっている。 ・写真を多く使って全体的に見やすく工夫されており、興味をひく構成となっている。 ・写真やイラストが身近なものやデザインが多く、生徒が興味を持ちやすいよう工夫されている。 ・18歳でできること、20歳でできることという特集が興味深い。また、「誰を市長に選ぶ」（P78～79）では、生徒が取り組みたくなるような内容で設定されているのが良い。 ・デジタルコンテンツが充実している。 ・公民においては思考ツールが9種類掲載されており、考えをまとめるために有効な手立てとなり、使いやすいデジタルコンテンツである。 ・これまであまり取り扱ったことがない内容も多く掲載されているため、教員がどのように授業で取り扱うかが難しい。 ・特集ページの色がパステル調で、やや見にくい。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
教 出	中学社会 公民 ともに生きる	・経済の動きの流れについて、内容がわかりやすく構成されている。 ・見開き（P1～2）でSGDsを大きく取り上げられており、SGDsと関連の深い公民を学ぶ上で、効果的である。 ・「Look」「Try」と題して、生徒に着目させることで意識付けできるよう工夫されている。 ・「Think」と題して、考えを深める内容が設定されているのが良い。 ・全体的に見やすいものの、強調したい部分等、強弱がやや少なく、紙面が印象に残りにくい。 ・生徒が身近に感じられる内容がやや少ない。 ・SDGsが話題として取り上げられているところは良いものの、生徒が考えてみようという仕掛けがやや少なく、教員が工夫して授業を進める必要がある。 ・デジタルコンテンツは掲載されているものの、内容的にややわかりにくい。

帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	・課題やトピックスの配置等、全体的にわかりやすい紙面構成になっている。 ・「権利」について生徒にわかりやすく取り上げられているところが良い。 ・姫路市等、兵庫県に関する題材が多く取り上げられており、生徒にとって身近な内容となっているところが良い。 ・制服のジェンダーレス化について取り上げられており、加古川市においても多くの学校が取り組んでいることから、生徒にとって親しみがある内容となっている。 ・一人暮らしにかかる費用について等、生徒に考えさせることのできる題材が設定されている。 ・単元の中で学ぶ内容と SDGs との関連が明確に示されているのが良い。 ・コラムが要所に配置されており、生活と関連させながら考えることができる内容となっている。 ・「学習の前に」や「振り返ろう」が学習の前後に設定されており、生徒の学びを深めることに繋がりやすい。 ・初詣、七夕等、日本文化に関する記述があるのが良い。 ・デジタルコンテンツでは、図解アニメーションとしてわかりやすく解説されており、生徒が自主的に学ぶことにつながる内容となっている。 ※大半の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
日 文	中学社会 公民的分野	・非常にわかりやすい表現が意図的に使われており、紙面構成もタイトルや二次元コードも見やすく配置されている。 ・デジタルコンテンツでは、動画等が多く掲載されており、わかりやすく構成されている。 ・身近な題材や現代の政治家が取り上げられており、生徒が興味を持って取り組みやすい内容となっている。 ・「公民+α」では、様々な現代的な課題をトピックスとして取り上げられているのが良い。 ・「明日に向かって」、「チャレンジ公民」等、授業の進行や目指すテーマによって、公民を身近に感じたり、子どもたちが深く考えたりできる構成となっている。 ・加古川市の写真(P116)が取り上げられており、身近な題材として生徒の印象に残る内容となっている。 ・「チャレンジ公民」では、生徒が考えたいような構成になっている。また、様々な思考ツールが取り上げられているところが良い。 ・デジタルコンテンツが豊富にあり、使いやすい。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

自由社	新しい公民教科書	・安全保障について多く紙面が割かれているところは、ひとつの特徴である。 ・「アクティブに深めよう」では、生徒に主体的に考えさせようとする工夫が良い。一方で、黄色が強い紙面（P40～41）もあり、生徒が見づらく感じる可能性がある。 ・領土問題に関する内容について詳しく取り上げて掲載されている。 ・憲法に関する内容の記載が多い。一方で経済面や社会保障に関する内容の記載がやや少ない。また、多様性に関する記述が少ない。 ・生徒にとって身近な権利について取り上げられている題材がやや少ない。 ・全体的に文字が多い。 ・デジタルコンテンツの掲載がないことは、ICTを積極的に活用していこうとしている加古川市の現状や、これからの教科書という視点で見ると課題がある。
育鵬社	新しいみんなの公民	・憲法に関する内容の記載が多い。また、今後の憲法のあり方について書かれていることは特徴的である。 ・コラムとともに設定されている「学習を深めよう」では、さまざまな題材をもとに多様な方向に学びが深められるよう工夫されている。 ・思考ツールのランキングシートを様々な箇所で取り上げており、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツの掲載が少なく、出版社独自のコンテンツがない。 ・内容は豊富で参考資料としては良いが、教科書としてはやや情報量が多い。 ・章ごとに「入り口」や「これから」のコーナーが設けられており、授業の事前事後で活用できる。一方で、やや見にくい紙面構成となっている。